

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	大東市家庭教育支援チーム「つぼみ」
活動開始年度	平成28年度
活動拠点	大東市教育委員会事務局 学校教育部 教育政策室 家庭教育支援グループ
活動範囲	大東市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>120</u> 人 市教委6人、SSW7人、民生委員50人、青少年指導員34人、元教員4人 その他19人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 ○小学1年生全家庭訪問の実施(ベルト型の訪問型家庭教育支援) ・イベント案内や情報提供とともに、子育てについての困りごとなどの保護者の話を傾聴 ○気軽に集うことができる「いくカフェ」=サロンの開催 ・保護者が気軽に子育てについてなどを話すことができ、ほっと一息つける場所や家庭教育に関する学習機会の提供
活動の成果	・小学1年生全家庭訪問の達成、複数回訪問を行うなどの工夫による保護者に会えた件数の増加 ・地域で活動している家庭教育支援チーム員やSSWの訪問による保護者とのつながりができたことや「いくカフェ」=サロン形式の保護者同士のつながりが期待できる場所の提供ができた ・家庭の状況に関する情報量の高まり ・家庭訪問、「いくカフェ」=サロンにおいて保護者の話を丁寧に聞き取ることができ、保護者の悩みや不安の軽減が図れた

活動において苦勞した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チーム員の増員拡充 ・「いくカフェ」=サロンにおいて、より保護者が参加しやすいような工夫 ・SSW の増員 ・市民に向けた活動内容等のより一層の情報発信
今後の活動目標	<p>・保護者が安心して子育ておよび教育を行えるよう、小学生保護者を対象に家庭教育に関する情報や学習機会の提供を行うほか、孤立しがちな保護者や教育への関心が低い家庭等の戸別訪問を行い、コミュニケーションを図り、信頼関係を構築し、保護者の教育に対する理解を深めるとともに、学校・家庭・地域が連携し、子どもの健やかな成長に必要な教育環境の充実を図る</p>
問合せ先	<p>(部署・氏名等) 大東市教育委員会 教育政策室 家庭教育支援グループ (TEL) 072-800-7760(直通) (E-mail) k_shien@city.daito.lg.jp</p>